

看護学雑誌 第44巻 総目次

1980年1-12月

(表示は、題名：筆者名、号数、ページ数)

マイ・オピニオン

- 子供の入院に思う：中野芳江，1，17.
卒後の体験学習で思う：桂万里子，2，129.
学びの広がり：大川市子，3，241.
患者からの学びを看護に生かして：森田和子，4，353.
2人の看護の先輩に接して：鈴木明子，5，465.
実習カリキュラム編成に思う：白松万里子，6，577.
看護教育の現場で悩む：木村艶子，7，689.
准看護廃止運動に思う：道廣睦子，8，801.
教育制度と看護教育：坂本須恵子，9，913.
准看護婦養成廃止運動にご協力を：阿部悦子，10，1025.
准看護婦の立場から一言：河霜昭子，11，1137.
准看護廃止議論の応酬に思う：斎藤敏昭，12，1249.

特 集

難病へのアプローチ

- 座談会／患者・家族，住民とともにすすめる在宅ケア：
木下安子・石川恵美子・高坂雅子・大橋誠・池上洋通，
1，19.
地域の保健・医療チームによる難病患者・家族への在宅
ケア——末期の筋ジストロフィー症患者S.I.君をめぐ
って：関野栄子・赤塚弘子・榊原和子・二羽昌子・中
谷幸子，1，33.
在宅難病患者・家族への訪問援助——筋萎縮性側索硬化

- 症のSさんをめぐって：佐藤和子・佐藤富子，1，45.
私の提言／難病患者の医療——その現状と今後の課題：
宇尾野公義，1，54.
私の提言／保健所のより積極的な取り組みを：西三郎，
1，55.
私の提言／在宅ケアの質的向上とシステム化を：島内節，
1，56.
私の提言／〈継続医療室〉における難病への取り組み：窪
田チヨ，1，58.
私の提言／診療所における難病への取り組み：菅原恵子，
1，60.
私の提言／ナーシングホームのような受け入れ施設を：
乾死乃生，1，61.

患者の死をみまもって

- 家族不在の死を看とって：伊藤正子，3，243.
死を目前にした人に導かれて：藤田郁子，3，250.
〈死への看護〉考：遠竹ミエ子，3，253.
患者さんの死を見つめて：那須操子，3，257.
死を目前にした患者・家族へのかかわり——看護婦の役割
り：多田盛世，3，260.
家：松本こずえ，3，265.

〈痛みと鎮痛剤〉看護からの視点

- 座談会／1本の注射に看護者の主体性が問われる：佐久

間敏子・金智子・本誌、4、355.

癌末期患者と鎮痛剤——痛みをどこまで理解できるか：

三浦潤子・谷脇佐代子、4、364.

何よりも優先させるべき癌末期患者の疼痛除去：小松玲子、4、370.

麻薬系鎮痛薬の使用に際して——特に末期癌患者を対象に：水口公信、4、374.

老人のターミナルケア

生の完結をめざす老人のターミナルケア：奈倉道隆、5、467.

老人ホームの基本構造と老人の生と死：小国英夫、5、474.

老人のターミナルケアとソーシャルワーク——アメリカにおける事例を中心に：村山冨子、5、480.

老いの生きざま、死にざま：樋口恵子、5、485.

開業医院のなかの看護

開業医院に求められる看護——准看護教育の経験とおして：中島三枝子、6、579.

開業医院での体験から——潜在看護婦として思う：浅野全子、6、587.

〈座談会〉開業医院に看護のある医療を求めて——開業医院における模索と展望：塩田善朗・塩田チエ子・秋田六子・石田マサエ・北村悦子・中山英子・森ハルヨ・太田弘子・春日井弘子、6、590.

患者の参加した死への援助——交流分析を用いての試み

交流分析と患者心理：白井幸子、7、691.

〈事例紹介〉‘ほんとうのことを知りたいんです’——病名告知の会話記録と告知と告知後の変化：間瀬美知子、7、699.

〈座談会〉交流分析研究会への患者参加：白井幸子・貝塚レイコ・間瀬美知子・村上国男・古賀良平・中川英雄・鈴木珠玉子・竹嶋光代・右近敦子・佐藤美佐子・置郁子・伊〇昭〇、7、709.

研究会参加後の患者の内的変化：間瀬美知子、7、718.

〈考察〉‘望ましい死’をとげた人からの学び：白井幸子、7、722.

老人のターミナルケア・2

〈座談会〉終末期の老人の生き方、死に方——これからはどうなる：季羽倭文子・阿部初枝・森幹郎、8、803.

癌末期を在宅で過ごした老人への訪問看護：後藤志津子、8、816.

癌末期の老人患者への終末期看護：小松正美、8、822.

複雑な家族背景をもった患者の在宅療養への援助：根本

三代子・瀬木静子・久保田睦子、8、828.

精神病患者と入院・1——精神科諸施設の存在と意味

一事例を通して精神科看護を考える——地域で支えることの意味：東京都立墨東病院北2病棟看護研究グループ、9、915.

事例研究を通して看護を考える——一般科から精神科に移って：熊倉茂子、9、928.

総合病院の精神科の意味するもの——単科精神病院での体験から：山本浩子、9、933.

〈グラフ〉総合病院にみる精神科看護——地域に密着して在る墨東病院北2病棟、9、938.

精神病患者と入院・2——精神科諸施設の存在と意味

〈座談会〉精神科諸施設の存在と意味——地域精神医療の原点を問うなかから：西山詮・鈴木ムツ・矢野真二・谷中輝雄・島田文直、10、1027.

座談会‘精神科諸施設の存在と意味’を読んで：浜田晋、10、1054.

看護者自身の中の准看護制度

良い看護を提供し得なかった看護者の歴史：小島ユキエ、11、1139.

看護だけの問題にしてはならない：高橋きみ、11、1145.

我が内なる准看護制度——私の准看護時代を想起して：三枝美樹夫、11、1152.

〈提言〉一定経験を経た准看護婦に看護婦国家試験の受験資格を：大塚進、11、1157.

病児と遊び

子どもの発達と遊び——子どもにとって遊びとは何か：上田礼子・花岡真由紀、12、1251.

病児の遊びと保育——幼児後期の入院児の遊びと集団遊びへの導入：中野智津子・神田加代子・山田道子、12、1257.

病児の遊びと看護の役割——看護の専門性からみた遊びへのかかわり：舟島なをみ、12、1266.

入院幼児の遊びの実際：小島恭子・伊藤安子・小川佳代、沼倉照枝、12、1271.

心身障害児の訓練と遊び：東則子、12、1280.

病児の遊びを見つめるなかで：内田昌江、12、1284.

特別論稿

座談会／「宣告」から何を学ぶか——死を生きぬく人たちの存在：橋本きみ・小松玲子・福井千鶴子・大津和子、2、730.

ナースに必要な臨床薬理の知識——第28回医学書院看護

学セミナー講演から：石崎高志， 2， 142.
老病心中 [1] ——ある嘱託殺人事件の考察：清水昭美，
5， 492.
老病心中 [2] ——53例の分析と考察：清水昭美， 8， 835.

海外情報

口腔癌との闘い——術後の困難に立ち向かった記録：矢
木公子， 10， 1060.
フランスのホスピス——Maison Médicale JEANNE
GARNIER を訪ねて：渡会丹和子， 11， 1162.

ベッドサイドの看護

ショック状態にある重症熱傷患者の看護：榊原守・中野
とも子， 2， 167.
患者把握が困難であったネフローゼ患児の看護：清野み
つ子・日塔操， 2， 174.
痛みを訴える患者の看護——鎮痛剤使用からの離脱を試
みて：武田志乃枝・蜂谷千枝・網野富美子・石塚登美
子， 3， 270.
睡眠発作という形で訴えかける患児への援助：大久保圭
子・亀井クニ子・吉岡志保子・高瀬ふみ枝・鍋木御鈴・
川口麗子， 3， 274.
精神発達遅滞児の食事訓練を中心とした援助——3歳6か
月まで固形物摂取ができなかった事例：西村静代， 3， 279.
大人への不信感があり発熱症状の続く少女への援助：亀
井クニ子・高瀬ふみ枝・上原恭子・大岡富記子・名生
敏子， 3， 285.
拒否反応と合併症のある腎移植患者への援助：岡田十寸
穂・須永登女・徳平裕子， 4， 382.
下肢強直痙攣強度な患者のADL自立への援助：岩佐百
合子， 4， 387.
生への意欲が強い胃癌末期患者への援助：重松明美・松岡
愛子・藤本温代・西川繁美・武智貞子・上岡典子， 4， 391.
自然気胸の再発を繰り返し極度の不安を訴える患者への
働きかけ：斉藤順子・水木勝子・西山裕子・土屋久美
子， 5， 504.
無菌室における白血病患児の看護：高野奈江・平林久子・
志水節子・山崎雅子・堀美代子， 6， 605.
エーラー・ダンロス症候群患児への言語的かわり：的
場シモ・小笠原嘉祐・高階見伎子， 6， 610.
痛みが強い慢性関節リウマチ患者のリハビリテーション
看護：鈴木ハツエ， 6， 616.
植物状態患者の退院指導とその後の経過から継続看護を
考える：鹿又末・白戸良子・堀井るり子・永沢明美，
6， 620.
自立不可能と思われた重心児のADL自立への援助：河
上洋子・和地悦美， 7， 726.

入院から通院透析に移った患者への援助：深田恵子， 8，
842.
種々の麻痺と失語症のある老人患者へのアプローチ——
事例を通して患者とのコミュニケーションを考える：
久嶋信代・鬼頭雅代・山口よね子， 9， 942.
透析を受け入れにくかった患者への援助：江口里美・倉
沢タツ， 9， 948.
意識障害のある術後患者のリハビリテーション看護：岡
川文香・松本公子・森美穂・金村加代子・貞益淑子・
大津弘子， 9， 954.
予後不良な青年期患者への看護：西山美智恵・有好八恵
子， 10， 1064.
心筋梗塞移行防止への看護：下出和枝・尖照美・工藤清
子， 11， 1165.
精神科看護における人間関係の重要性を学ぶ：下松房子，
11， 1169.
痴呆を伴った脳血管障害患者の排尿管管理：若林マサ子・
秋葉千恵子・瀬川和美・小林こと， 11， 1173.
意識障害のある老人患者の尿道留置カテーテル抜去を試
みて：安藤恵津子， 12， 1290.

研究と報告

癌末期患者の疼痛に対する援助の有効度——過去6年間
の看護関係雑誌・看護研究集録の分析から：浜崎光子・
宮崎和子， 2， 156.
高カロリー輸液に関する看護技術と手順——1. 中央材料
室における物品の準備：石塚玲器・正木靖子・渋谷三
枝子・原田まり子・石塚百合子・葛西洋一， 4， 394.
高カロリー輸液に関する看護技術と手順——2. 中心静脈
挿管のための鎖骨下静脈穿刺法：石塚玲器・石塚百合
子・葛西洋一， 5， 507.
老人の巨大多発褥瘡——訪問看護によるケア：菅原恵子，
10， 1068.

学生の眼

機能回復への援助をとおして学んだこと——術後の右半
身不全麻痺患者I氏とかかわって：岩崎信子， 4， 398.
痛みの続く患者への援助をとおして学んだこと——注射
によらない疼痛緩和を試みて：阿部奈穂子， 5， 510.
〈基本的ニーズを満たすことで得られた信頼〉から看護を
学ぶ：阿部恵子・与那嶺純子， 6， 624.
交流の乏しい精神分裂病患者とのかかわりの中で学んだ
こと：西嶋宣雄， 7， 734.
看護婦の言動と患者のニーズ——3年間の学習から：大
塚清美， 8， 846.
患者からの学び——3年間の実習を振り返って：高橋美
智子， 9， 958.

看護計画とは——実習を通して考察する：三木京子，10，1072.
看護の姿勢について考えさせられた一事例——全盲の骨折患者を通して：袴田弥栄子，11，1178.
表情の乏しかった重症心身障害児へのかかわり——2週間の実習体験から：天野和子，12，1294.

ホスピス

——イギリスの末期医療の現場報告：柏木哲夫

D.H.サマーズとの対話[1]——ホスピスの成り立ちとスタッフの役割，1，66.
D.H.サマーズとの対話[2]——患者の死と看護の役割，2，178.
D.H.サマーズとの対話[3]——病室のレイアウトとペインコントロール，3，290.
C.M.ソンドースとの対話——ホスピスの在り方とその指導者の条件，4，404.
D.ドイルとの対話[1]——ターミナル・ケアに必要な条件，5，518.
D.ドイルとの対話[2]——ターミナル・ケアにおけるコミュニケーションの問題，6，630.
D.ドイルとの対話[3]——患者の必要を満たすためのチームによる全人的ケア，7，740.
セント・ジョセフ・ホスピス[1]——その歴史とケアの実際，8，850.
セント・ジョセフ・ホスピス[2]——訪問看護と外来クリニック，9，964.
セント・ジョセフ・ホスピス[3]——年次報告書にみる在宅ケアチームの働き，10，1078.
国際ホスピス大会の話題(ゲスト：斎藤武)，11，1187.
日本のホスピスはどのような方向を目指すべきか(ゲスト：斎藤武)，12，1300.

ナーシングホーム

——アメリカ合衆国の医療と看護の実態：岡本祐三

アメリカ合衆国のシンボルとしてのナーシングホーム，1，74.
医療従事者と入院患者，2，186.
入院生活と病気の種類，3，298.
病院とナーシングホームの役割の違い，4，411.
ナーシングホームの歴史，5，523.
入院と退院の実態，6，636.
ナースなきナーシングホーム，7，747.
‘登録看護婦’制度の確立と‘看護助手’出現の歴史，8，858.
3つの方向に模索する看護と看護職，9，971.
社会の階層化を反映した医療と医師の特権，10，1083.
世界一高い医療費の秘密，11，1195.

老人問題の受け皿としてのナーシングホーム，12，1307.

輸液——ある個人指導の経験より：

和田孝雄・近藤和子・梶原めぐみ

輸液とは何か，1，81.
ナトリウムの必要量，2，193.
基礎輸液の概念，3，305.
維持輸液，4，417.
低ナトリウム血症の考え方ー1，5，529.
低ナトリウム血症の考え方ー2，6，641.
高ナトリウム血症，7，753.
脱水[1]——脱水症の分類，8，865.
脱水[2]——重症度と体液欠乏量，9，977.
輸液剤の種類，10，1089.
輸液の速度，11，1201.
カリウムの必要量，12，1313.

透析療法と看護

透析療法の現状と将来：小川由英，1，85.

性の臨床：河野友信

臨床と性——日常臨床の中の性問題，2，197.
人間の性——臨床の場で必要な性の知識，3，309.
性と心理，4，421.
性の異常と正常，5，533.
ライフサイクルと性，6，645.
治療関係と性，7，757.
身体疾患と性，8，869.
精神疾患と性，9，981.
性障害の診断と治療——心因性性機能障害を中心に，10，1093.
医原性の性障害，11，1205.
性の臨床と看護，12，1317.

心臓病Q&A：高階経和・後内道子

セルフテストー1，1，89.
セルフテストー2，2，201.
セルフテストー3，3，313.

呼吸器病Q&A：岡安大仁・福田幸子

肺炎腫・慢性気管支炎，4，425.
気管支喘息，5，537.
肺炎，6，649.
自然気胸，7，761.
胸部の打診と聴診，8，873.
肺線維症，9，985.
胸膜炎，10，1097.

肺結核, 11, 1209

肺癌, 12, 1321.

脳卒中の病理: 岡崎春雄

脳梗塞の経過, 1, 93.

脳梗塞——後部脳循環系を主として, 2, 205.

高血圧性脳出血, 3, 317.

脳動脈瘤, 4, 429.

脳動脈瘤と脳動静脈奇形, 5, 541.

細菌性心内膜炎の結果として起こる脳疾患, 6, 653.

セルフテスト, 7, 765.

滅菌と消毒: 林和枝

滅菌・消毒の意味と目的, 8, 877.

滅菌法の実際[1]——高圧蒸気滅菌法, 9, 989.

滅菌法の実際[2]——滅菌効果の確認, 10, 1101.

滅菌法の実際[3]——エチレンオキシド滅菌法, 11, 1213.

消毒法の実際, 12, 1325.

こんにちにはメヒコ——看護交換留学記

太陽の国[メヒコ]: 柴田美千代, 1, 98.

医療事情: 柴田美千代, 2, 210.

てんやわんやの下宿生活: 古瀬敬子, 3, 322.

素顔のメキシコ合衆国: 古瀬敬子, 4, 434.

メヒコで暮らす知恵: 柴田美千代, 5, 546.

初めての病院研修: 古瀬敬子, 6, 658.

小児病棟の実習: 柴田美千代, 7, 770.

研修中に出会った愉快的仲間たち: 古瀬敬子, 8, 882.

たくましく育っているメヒコの子供たち: 柴田美千代, 9, 994.

学校研修中の出来事: 古瀬敬子, 10, 1106.

クリスマスの思い出: 柴田美千代, 11, 1213

民族的なお祭り行事: 古瀬敬子, 12, 1330.

余白のつぶやき: べっしょちえこ

学際, 1, 101.

遅まきながらサッチャーさん, 2, 213.

闇に在りしものは闇に, 3, 325.

天質, 4, 437.

コーエン, 5, 549.

ああ検査, 6, 661.

役立たず, 7, 773.

ある歳月, 8, 885.

生物学的恐怖, 9, 997.

面白くねえ, 10, 1109.

准看—その闇, 11, 1221.

ガーデンパーティ, 12, 1333.

プロフィール

〈能条多恵子〉札幌近郊看護研究集会で活躍——「一生人間らしく健康を維持できるような看護をしたい」, 1, 97.

〈森田省子〉詩集「私庭」「愛虫の章」を著す——怒りが爆発する直前にことばは生まれます, 2, 209.

〈鈴木敦子〉職場の歴史「あすを拓く」を自費出版——「ここにへばりついて働く人の歴史を書きたかった」, 3, 321.

〈藤田睦子〉[看護婦のオヤジの会]会長の妻——「ケアちゃんはずばらしい」とオヤジはいつも言うんです, 4, 433.

〈長岡房枝〉読売女性ドキュメンタリー賞受賞——「看護を素材に人間愛を追究したかった」, 5, 545.

〈大和八千代〉手話のできる助産婦として活躍——「うまく訴えられず病気をがまんするろうあ者が多いんです」, 6, 657.

〈原安江〉日本の心を求めちぎり絵に会う——「和紙のぬくみ、繊維のもつ丸みをちぎり絵で表したい」, 7, 769.

〈天野美佐子〉カンボジア難民の看護にあたる——「日本は医療の面で随分恵まれていると思いました」, 8, 881.

〈秋山幸長〉高校野球の審判を続けて15年——「高校生って何事をするにも一所懸命なんですね」, 9, 993.

〈中村君子〉インドの〈死を待つ人のホーム〉で働く——「そこには本物の愛がありました」, 10, 1105.

〈工藤芙美子〉マラウィで看護婦として働く——「素手でする看護のすばらしさを知りました」, 11, 1217.

〈今野幸生〉閉鎖病棟の開放化に全力で取り組む——「密室性をとにかくなくさなければと思って」, 12, 1329.

ナースとほん

母と子のきずな——母子関係の原点を探る (M.K. クラウス, J.H. ケネル著, 竹内徹・柏木哲夫訳): 田村真由美, 1, 106.

患者との非言動的コミュニケーション——人間的ふれあいを求めて (M.N. ブロンディス, B.E. ジャクソン著 仁木久恵・岩本幸弓訳): 伊藤ひろ子, 1, 107.

死とのであい (ジョン・ヒントン著, 秋山さと子・定方昭夫訳): 渡会丹和子, 2, 216.

ナースに必要な新しい臨床薬理の知識 (石崎高志著): 谷口悦子, 2, 217.

女の一生と健康——各年代の充実をめざして (日野原重明著), 2, 218.

脳神経外科チームのための患者管理の実察 (J.R. Howe 著, 半田譲二・小山素麿訳): 鈴木雅子, 3, 328.

随筆集 白のえんぴつ(小林富美栄著):長谷川泉, 3, 329.
 インスティテューショナルリズムを超えて——精神科医からのメッセージ(計見一雄著):矢野真二, 4, 438.
 ロジャーズ看護論(Martha E. Rogers 著, 樋口康子・中西睦子訳):近森芙美子, 4, 439.
 難病に取り組む女性たち——在宅ケアの創造(川村佐和子著):三宅智恵子, 5, 550.
 精神分裂病者の入院治療——すべての治療スタッフのために(吉松和哉著):清水将之, 5, 551.
 あすを拓く——芹香院50年の精神医療(鈴木敦子著):廣瀬喜美子, 6, 662.
 病める老人を地域でみる——デイケア・訪問看護・ナーシングホーム(前田信雄著):鎌田ケイ子, 6, 663.
 バリ・キュリィ病院(野見山暁治著):吉田紀子, 6, 664.
 神経疾患看護マニュアル(N. Swift, R.M. Mabel 著, 福田真二・栗屋典子訳):山口龍子, 7, 774.
 情緒障害児の看護(Claire M. Fagin 著, 米澤照夫・三浦晴夫訳):川口麗子, 7, 775.
 痛みと闘う(清原迪夫著):望月栄子, 8, 886.
 臨床看護の心を求めて(廣瀬喜美子著):土屋美津木, 8, 887.
 死にゆく時——そして残されるもの(E.S.シュナイドマン著, 白井徳満・白井幸子・本間修訳):柏木哲夫, 9, 998.
 人間であるために——老人呆けをなおしたある家庭の場合(敷島妙子著):阿部初枝, 9, 999.
 詩集 ナーセスブルー(べっしょちえこ著):山本育夫, 9, 1000.
 プログラム学習 患者ケアの基礎(Maja C. Anderson 著, 荒井蝶子監訳):松本光子, 10, 1110.
 神経難病の実践的ケア論——看護・福祉・心理チームの訪問援助(川村佐和子・伊藤淑子・高坂雅子):松葉卓郎, 10, 1111.
 生れしながらの——わが国保健事業の母 保良せき伝(べっしょちえこ):長谷川泉, 10, 1112.
 マザーテレサ——すばらしいことを神さまのために(マルコム・マゼリッジ著, 沢田和夫訳):横綾子, 11, 1222.
 がん患者の心——世話をする人々への指針(Ruth D. Abrams 著, 吉森正喜訳):塚本靖子, 11, 1223.
 老人のリハビリテーション(改訂第2版, 福井園彦著):野中典, 12, 1334.
 らい看護から(河野和子・外口玉子編):杉田チツ子, 12, 1335.

ニュース

老年3学会が合同で開催——第11回日本老年学会/第21回日本老年医学会総会/第21回日本老年社会学会大会, 1, 102.

第38回日本公衆衛生学会総会/第34回国立病院療養所総合医学会, 1, 103.
 第10回日本看護学会成人看護分科会/第12回東北地区看護研究学会, 1, 104.
 第10回日本看護学会小児看護分科会/第29回医学書院看護学セミナー, 1, 105.
 第10回日本看護学会母性看護分科会/第30回医学書院看護学セミナー/第15回東海地区看護研究学会, 2, 214.
 第17回日本社会保険医学会/第3回ホームケア研究会/第11回中国地区看護研究学会, 2, 215.
 臨死患者と家族の心理を主題に 第3回死の臨床研究会, 3, 326.
 第13回関東甲信越地区看護研究学会/第10回日本看護学会地域看護分科会/第31回医学書院看護学セミナー, 3, 327.
 ‘呆け老人をかかえる家族の会’が発足/第2回東京ホームケア公開研究会/ライフプランニングセンターシリーズセミナー「バイタルサインその見方と異常のケア」開催, 5, 554.
 第16回九州地区看護研究学会/第11回近畿地区看護研究学会/第32回医学書院看護学セミナー, 5, 555.
 第2回POS研究会/第11回四国地区看護研究学会/東京民医連第11回看護活動研究集会, 6, 635.
 協会組織の改正を決議 昭和55年度日本看護協会通常総会, 8, 890.
 第33回医学書院看護学セミナー/昭和55年度北海道地区看護研究学会, 8, 891.
 第4回看護を考える市民と看護婦の集い, 9, 1002.
 第11回日本看護学会看護教育分科会/第34回医学書院看護学セミナー/“人間と看護を考える会”第2回合同研修会, 10, 1114.
 ‘呆け老人をかかえる家族の会’東京での初のつどい開かる/第11回日本看護学会小児看護分科会, 11, 1185.
 市民との対話集会‘女性と健康’開かる, 11, 1226.
 第11回日本看護学会成人看護分科会(秋田)/第11回日本看護学会成人看護分科会(茨城), 12, 1338.
 第2回難病看護研究会/第6回医療と教育に関する国際セミナー, 12, 1339.

看護サロン

舅の入院から看護の現状について思うこと:岩渕ひろ子, 1, 110.
 看護史を教えて:八木君代, 2, 220.
 思いやる心を大切に:河野美穂子, 2, 221.
 事例研究の発表から学んだこと:森川美智子, 2, 222.
 ナースキャップ考・1——シンボル分析の試みとして:笹沢武・西脇和彦, 3, 332.

ある産科医院のこと：山田愛子，3，335.
ナースキャップ考・2——シンボル分析の試みとして：
笹沢武・西脇和彦，4，444.
精神科勤務へのささやかなお誘い：秋田智枝，4，445.
父の死を看とって：渡山恵子，4，446.
新米外来の1日：轟登美子，5，556.
看護婦との対話：千島染太郎，5，556.
果たして‘患者さんのおかげ’なのだろうか——精神病院
の実態に思う：鈴木保，5，557.
〈読者カード〉について：編集部，5，559.
学生から学ぶ臨床指導のあり方：岩渕ヒロ子，6，668.
リハビリテーション看護に思う：早田英子，6，669.
准看学院の卒業式に出席して：今成邦子，7，780.
収穫——看護学校3年間を振り返って：河野克子，7，781.
〈読者カード〉から・2，7，782.
痛みと鎮痛剤についての体験的私見——本誌4月号の特
集を読んで：富沢賢，8，892.
〈読者カード〉から・3，8，895.
死にたいと訴えている患者を前にして——溜息と独り言：
森千加代，9，1004.

学生と共に学ぶ：八木君代，9，1006.
〈読者カード〉から・4，9，1007.
准看をバカにしている？：匿名，10，1116.
反論に答えて：今成邦子，10，1117.
母の思い出：加藤一子，10，1118.
〈読者カード〉から・5，10，1119.
学生からの学び：八木君代，11，1228.
寮生活のなかで思うこと：小林千雪，11，1230.
混雑する外来部門：長沢礼子，11，1231.
〈読者カード〉から・6，11，1231.
初めて手術を見る：木村ミチ，12，1340.
禅寺における体験学習：竹中秀美，12，1341.
看護婦が患者を拒む時：岩渕ヒロ子，12，1342.

グラフ

西陣の路地は病院の廊下や！——京都・堀川病院の〈出
っ張り医療〉と〈踏みこみ看護〉，1，10.
「夫とともに産めてほんとうにうれしい」——ブラッドリ
ー法による自然和痛分娩を体験して，2，122.
術前オリエンテーションを紙芝居で——神奈川県立こど
も医療センター学童外科病棟での試み，3，234.
親の腕のなかで過ごさせてはいけない——肢体不自由児
のリハビリテーション看護に励む千葉県立桜ヶ丘育
成園，4，346.
ボケ老人が踊りだした！——心のリハビリテーションを
めざす〈悠生園〉の音楽療法，5，456.
グラフ解説／心のリハビリテーションをめざす老人の

‘音楽療法’：田中多聞，5，500.
‘患者さんは1人1人違うんですね’——全開放病棟の
もと個別のケアに徹する——長野県立駒ヶ根病院，6，570.
病気じゃないんだ，思いきり遊ぼう——小児1日糖尿病
教室における継続看護——国立療養所三重病院小児B病
棟，7，682.
「訓練日が待ち遠しいです」——〈信愛デイケアセンター〉
にみる老人のデイケアサービス，8，794.
この子らは愛が何かを教えてくれる——重心児施設〈お
おぞらの家〉の看護，9，906.
老人の巨大多発瘡——訪問看護によるケア：菅原恵子，
10，1016.
人の情けにふれました——〈鶴生園〉のデイケアサービス
を楽しむ老人たち，10，1018.
どんなに痛くても体を動かしてほしい——慢性関節リウマ
チ患者の看護——国立長野病院整形外科病棟，11，1130.
病気なんか吹きとばせワッショイ！——兵庫県立塚口病
院小児科病棟の‘夏祭り’，12，1242.

アイディア

注腸透視衣の工夫：国立療養所霧島病院外科外来，1，4.
ポータブルトイレ使用時の補助棒：佐藤竹子・中山スギ，
2，116.
車椅子用点滴架：田中カツ子・佐川多恵，3，228.

バイタルサイン

バイタルサインとは何か：岡安大仁，4，340.
脈拍[1]——正しい脈のみかた：道場信孝，5，452.
脈拍[2]——脈の性状の意味するもの——血行力学への理
解：道場信孝，6，564.
脈拍[3]——不整脈の見分けかたと考えかた・1：道場
信孝，7，676.
脈拍[4]——不整脈の見分けかたと考えかた・2：道場
信孝，8，788.
脈拍[5]——心臓性エマージェンシーにおけるバイタルサ
インのとらえかたとケアのプラン：道場信孝，9，900.
呼吸[1]——呼吸数をかぞえる前に：岡安大仁，10，1012.
呼吸[2]——換気量：岡安大仁，11，1124.
呼吸[3]——吸息と呼息：岡安大仁，12，1236.

素顔のナース

筆が自分の気持ちを表してくれる〈今泉深映湖さん〉，1，1.
雪の魅力は無限です〈斎藤悦子さん〉，2，113.
四季の移ろいに感激しました〈知花てる子さん〉，3，225.
体を動かすと心までスッとします〈柴又明子さん〉，4，337.
夫と踊れるのがとてもうれしく〈近藤典子さん〉，5，449.
部屋を人形でいっぱいにしたい〈永野久美さん〉，6，561.

海の中はまるで竜宮城みたいでく福田珠美さん>, 7, 673.
まだ綱引きの段階でく谷脇佐代子さん>, 8, 785.
フォークダンスで心の交流をく向山洋子さん>, 9, 897.
道場に立つと心が洗われますく大井幾代さん>, 10, 1009.
姿形の美しさを求めてく佐藤芳子さん>, 11, 1121.
ジョギングで体力づくりく廣田早苗さん>, 12, 1233.

映画紹介

マザー・テレサの手に看護の命を見る——ドキュメンタリー映画<マザー・テレサとその世界>, 4, 442.
“限られた生”の意味を問う——筋ジス患者の青春を描く映画<さよならの日々>, 6, 666.
さわやかに描く共働き夫婦の愛“看護婦のオヤジがんばる”, 7, 778.

看護ミニ事典

HLA: 辻公美/フィジシャン・アシスタント: 松本光子, 1.
バイオクリーンシステム: 正津晃/ラジオイムノアッセイ: 出村博, 2.
妥当性: 内海滉/デイホスピタル: 前田信雄, 3.
森田療法: 若井寛/アルファ・フェト・プロテイン: 塚田裕, 4.
ホスピス: 季羽俊文子/ブロンプトンミクスチュア: 間

瀬美知子, 5.

DIC: 高木皇輝/ラマーズ法: 朝比奈順子, 6.
A型肝炎: 志方俊夫/インターフェロン: 三好勇夫, 7.
脳死: 福岡誠之/肝臓移植: 山崎善弥, 8.
丸山ワクチン: 高橋昭三/手足口病: 中尾享, 9.
生物リズム: 千葉孝彦/CT スキャン: 平松慶博, 10.
人工血液: 光野孝雄/血液成分輸血: 清水勝, 11.
心因性弱視: 小口芳久/PSW: 見浦康文, 12.

新しい薬の知識: 斉藤太郎

酢酸デスモプレシン/プロチジン酸, 1.
ラクツロース/塩酸セトラキサート, 2.
クロラゼパ酸二カリウム/フェンブフェン, 3.
アルプロスタジル/セフメタゾールナトリウム, 4.
炭酸リチウム(1), (2), 5.
カルバミン酸クロルフェネシン/D-ペニシラミン, 6.
バクロフェン/レボドパと塩酸ベンセラジドとの配合剤, 7.
塩酸ドキサプラム(1), (2), 8.
オフトアルムK錠/ピコスルファートナトリウム, 9.
ベンズプロマロン/セファトリジン, 10.
チカルシリンナトリウム/ハイカリック液1号, 2号, 11.
ヨードキサム酸/アデラビン®, 12.

■設問形式のプログラム学習法により、段階を追って学べるようにした看護学生のための副読本

■問題は実際の、具体的にわかりやすく、患者ケア・看護技術の基本的な知識を無理なく修得できるよう配慮

プログラム学習 患者ケアの基礎

BASIC PATIENT CARE—A Programed Introduction to Nursing Fundamentals

著者 Maja C. Anderson
監訳者 荒井蝶子
訳者 新納京子
三国和子
城ヶ端初子

●主要内容

患者と看護婦: その人間関係 患者用ベッド(ベッドの準備 使用中のベッドのリネン交換) 早朝のケア 患者の清拭(清拭—入浴洗髪) 患者の運動と体位 患者の食事 午後と夕方のケア(午後のケア 夕方と夜間のケア) 患者に対する宗教上の配慮

●B5 頁258 図9 写真72 1980 ¥2,000 千200

プログラム学習 看護技術の基礎

BASIC NURSING TECHNIQUES—A Programed Introduction to Nursing Fundamentals

著者 Maja C. Anderson
監訳者 荒井蝶子
訳者 新納京子
三国和子
城ヶ端初子

●主要内容

滅菌と消毒(内科的無菌法) 患者の入院と退院 患者の観察 バイタルサイン 患者記録 包帯法 包帯交換 温熱療法と寒冷療法 排泄と洗浄 与薬 慢性疾患と臨終

●B5 頁350 図33 写真88 1980 ¥2,500 千200



医学書院

本社 1.1.3 9.1 東京・文京・本郷5-24-3 ☎東京(03)811-1101(代) 振替東京7 96693
洋書部 1.1.3 東京・文京・本郷1 28 36 鳳明ビル ☎東京(03)814 5931-5 振替東京1 53233